

科 目 名	医学研究データマネジメントと CDISC 標準		
タ ー ム	A 1	単 位 数	1
曜日・授業時間帯	火 3		
担 当 教 員	木内 貴弘、奥原 剛		
授 業 の 目 的	<p>CDISC(Clinical Data Interchange Standards Consortium)標準は、治験電子申請用の臨床研究データと付随するメタデータの国際標準として策定され、治験に関しては米国と日本では規制当局により利用が強制されている。また臨床・疫学研究データの電子的収集・データマネージメント・統計解析・アーカイブ化等の全ての場面で活用可能な形に拡張され、将来はアカデミアへの普及も確実視されている。日本では、国際標準の意義、役割、活用についての医学界の認識が不十分である。本講義では、CDISC 標準活用によるデータ、ソフト、研究業務の相互運用性の重要性を学ぶとともに、医学と情報学の学際的分野である臨床・疫学研究データマネージメントの実際に触れることを目的とする。</p>		
授 業 の 方 法	スライド、配布資料を用いて、講義及び質疑応答を行う。		
授 業 計 画 及 び 内 容 (各回のテーマ)	<p>※医学部教育研究棟 13 階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室にて対面集合型で実施します。</p> <p>10 月 3 日(火) 13:00-14:45 I. CDISC 標準概論 CDISC 標準とは 木内貴弘、千葉吉輝 (ChibaPlanningOffice)</p> <p>10 月 10 日(火) 13:00-14:45 II. 医学研究データマネージメント概論 臨床・疫学研究データマネージメントとは 宮路天平 (東京大学 先端科学技術研究センター)</p> <p>10 月 17 日(火) 13:00-14:45 III. 症例報告書の標準化- CDASH Clinical Data Acquisition Standards Harmonization データ形式の標準化 - SDTM Study Data Tabulation Model 千葉吉輝 (ChibaPlanningOffice)</p> <p>10 月 24 日(火) 13:00-14:45 IV. 解析データセットの標準化 - ADaM Analysis Data Model 山口拓洋 (東北大学大学院医学系研究科 医学統計学分野)</p> <p>10 月 31 日(火) 13:00-14:45 V. データとメタデータ - Define.xml CDISC Define.xml 千葉吉輝 (ChibaPlanningOffice)</p> <p>11 月 7 日(火) 13:00-14:45 VI. CDISC 標準による治験の電子申請 日本における新薬承認申請の現状と展望 安藤友紀 (医薬品医療機器総合機構)</p> <p>11 月 14 日(火) 13:00-14:45 VII. データ形式の標準化の実例 - SDTM 齋藤俊樹 (国立病院機構本部)</p>		
教 科 書	教材として、スライドのハンドアウトを各回に配布する。また CDISC ホームページ (http://www.cdisc.org/) を必要に応じ、参照すること。		
参 考 書	特に指定しない。		
成績評価の方法	出席(50%)及び課題レポート(50%)により総合的に評価する。		

他の授業との関連・履修上の注意	医学データの統計解析、医学研究のデザイン、公共健康情報学、医療情報システム学と関係を有し、共に受講が望ましい。製薬会社の治験、医師主導の治験では CDISC 標準は PMDA からその利用が強制されていること、将来はアカデミックな領域でも症例報告書・調査票作成、データマネージメント、統計解析等を CDISC 標準にもとづいて実施するようになることが確実であることから、将来、生物統計、臨床試験、疫学、医療情報システムの研究・実務に従事する予定の学生には履修を強く推奨する。予習、復習に配布資料を活用してください。
-----------------	---